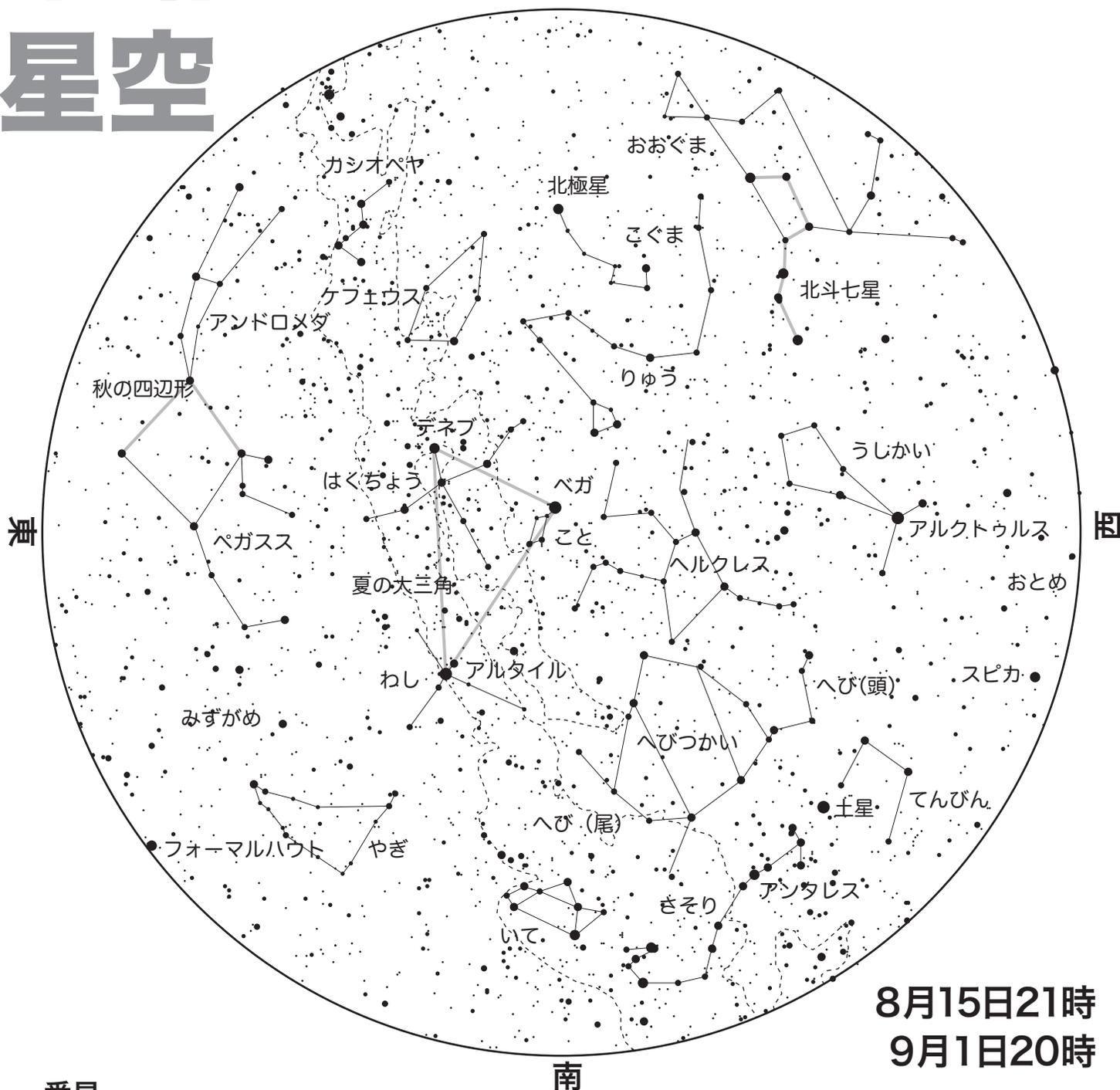


姫路の 星空

北



8月15日21時
9月1日20時

一番星

少し暗くなると、南西の空に土星、西の空にうしかい座のアルクトゥルス、頭の上にはこと座のベガが見え出します。みなさんには、どれが1番に見えるでしょうか？

夏の星（南の空～天頂）

南西にさそり座のアンタレス、東の空高くに夏の三角形が見えています。三角を作るのは、こと座のベガ（織女星）、わし座のアルタイル（彦星）、はくちょう座のデネブです。今年は8月20日が旧暦の7月7日にあたります。この頃、七夕の星たちは天頂で目立ち、空の暗いところでは、夏の三角形に重なるように天の川が見えます。かすかな光なので、街明かりや月明かりの邪魔のない空が澄んだ夜に、暗闇に十分目を慣らして探してみましよう。

秋の星（東の空）

東の空には秋の星が見え始めています。東の空を駆け上がる天馬ペガサス座の胴体にあたるのが、秋の夜空の目印「秋の四辺形」です。ここから北に向かうと、W型のカシオペヤ座をへて北極星が見つかります。秋の星座は暗い星が多いので、空気が澄む秋本番を迎えてからお楽しみください。